

公益社団法人 日本地下水学会
2019年度 事業報告書

本学会における事業は以下のように分類されている。

- 公益事業-1 [公1] : 地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業
- 公益事業-2 [公2] : 地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業
- 公益事業-3 [公3] : 地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業
- 公益事業-4 [公4] : 地下水に関する相談事業
- その他 [他1] : 表彰事業
- 共通事業 [共通] : 共通事業

それぞれの項目毎に事業報告を記す。

[公1] 地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業

1. 会誌編集事業

- ① 会誌 61 巻 2 号、3 号、4 号、62 巻 1 号の編集および発行を行った。3 号は、新会長による巻頭言、特集「山岳地域の水文地質学－世界の水源を供給する地下水の重要な役割－」および連載資料「地域の取り組みに関する意見交換会～愛媛県西条市～」を含み発刊した。
4 号は誌面講座「原位置地下水調査法の留意点と建設現場での活用」を開始した。62 巻 1 号は地下水学会 60 周年記念号を発刊した。
- ② 会誌印刷費の縮減のため、会誌後半部分の掲載方法などの検討に着手した。その一環として 3 号より入会申込書は掲載せず、裏表紙（の裏面）に QR コードを掲載し、学会ホームページの入会案内のページへ誘導することとした。
- ③ 会誌に掲載する原稿ジャンルの整理を行い、あわせて「若手のページ」を「すぶりんぐ」から独立させて新しいジャンルとした。
- ④ 「地下水ガバナンス」、「降雨浸透過程モデリング」、「トンネルと地下水」の各特集について編集を開始した。

2. 定期講演会等の主催

- ① (公社) 日本地下水学会春季講演会
日時：2019年5月25日(土)
場所：千葉県 千葉商科大学キャンパス 1号館
参加者数等：参加者数113名、講演件数25件うちポスター発表数7件、展示件数4社
- ② 第25回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会
主催：(公社) 日本地下水学会、(公社) 地盤工学会、(公社) 日本水環境学会、(一社) 廃棄物資源循環学会、(一社) 土壌環境センター
日時：2019年10月8(火)、9日(水)
場所：大阪府 大阪市中央公会堂
参加者数等：参加者数488名、発表件数134件、企業展示31社
- ③ (公社) 日本地下水学会秋季講演会
日時：2019年10月10(木)、11(金)
場所：島根県松江市 松江テルサ
参加者数等：参加者数126名、講演件数52件うちポスター発表数9件、展示件数2社

3. 講演会等の後援、協賛

- ① (公社) 日本河川協会日本水大賞委員会主催：第 22 回日本水大賞、後援
- ② サントリー熊本地下水みらいプロジェクト主催：公開シンポジウム『巨大地震が熊本の

地下水環境に与えた影響の科学的解明—日本地下水学会熊本地震調査研究グループ活動による成果報告—』、2019年4月13日、パレアホール、共催

- ③ 日本地球惑星科学連合 (JpGU) 主催：「水循環・水環境」セッション、「流域の物質輸送と栄養塩循環—人間活動および気候変動の影響—」セッション、2019年5月26日～30日、幕張メッセ、共催
- ④ (一社) 地下水技術協会主催：春季講習会 2019 初級技術者のための地下水講座—地下水と揚水—、2019年6月6日、ティアラ江東、協賛
- ⑤ (公社) 地盤工学会主催：土壌・地下水汚染の調査・予測・対策講習会、2019年6月18日、地盤工学会大会議室、後援
- ⑥ 再生可能エネルギー協議会主催：第14回再生可能エネルギー世界展示会、2019年7月10日～12日、パシフィコ横浜、協賛
- ⑦ フジサンケイビジネスアイ主催：地盤技術フォーラム 2019 (地盤改良技術展、基礎工技術展、災害対策技術展)、2019年9月11日～13日、東京ビッグサイト、協賛
- ⑧ (公社) 地盤工学会主催：現場実験から把握する地下水の実流速 (その3)、2019年10月18日、日大文理学部百周年記念館とその敷地内、共催
- ⑨ (一社) 日本応用地質学会主催：日本応用地質学会研究発表会 「地下水」セッション、2019年10月24日～25日、シティホールプラザ アオーレ長岡、共催
- ⑩ (公社) 地盤工学会主催：Kansai Geo-Symposium2019—地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—、2019年11月1日、関西大学100周年記念会館、協賛
- ⑪ (一社) 全国さく井協会主催：いい井戸の日 2019 in 四国、2019年11月7日、ザ クラウンパレス新阪急高知、協賛
- ⑫ 名城大学日比研究室主催：「大気—表面水—地下水連成数値解析プログラムの講習会」、2019年11月15日、地盤工学会 大会議室、後援
- ⑬ (一社) 地下水技術協会主催：令和元年度秋季講演会「地震と地下水」、2019年11月29日、ティアラ江東、協賛
- ⑭ (公社) 地盤工学会主催：地下水調査・理論・設計実務講習会、2020年1月20日、地盤工学会大会議室、後援
- ⑮ NPO 法人地中熱&地下水資源活用 NET 主催：第8回トークセッション「水環境と災害」～多発する自然災害と地下水の関わりを考える～、2020年1月25日、岐阜市じゅうろくプラザ、共催

4. 出版事業

- ① 絵本「のぞいてみよう しぜんかがく みず」を監修した。
- ② 「みんなが知りたいシリーズ 地下水・湧水の疑問 50」(仮)の出版に向け活動を開始した。

[公2] 地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業

1. 講習会事業

- ① 湧水スポットを巡る水文調査講習会 (入門編)
日時：2019年7月4日(木)、5日(金) 2日間
場所：1日目：日本大学文理学部、百周年記念館2階「会議室2」
2日目：(野外実習) 東京都国分寺「お鷹の道・真姿の池」周辺
(データまとめ・質疑) 国分寺市立 cocobunji (ココブンジ) プラザ・セミナールーム
主催：(公社) 日本地下水学会
受講者数：10名
- ② 地下水シミュレーション (浸透流解析) 講習会
日時：2019年7月31日(水)、8月1日(木)、2日(金) 3日間

場所：岡山県青年館 大ホール
主催：(公社) 日本地下水学会
受講者数：21名

2. シンポジウム・セミナー開催事業

- ① セミナー「地下水ガバナンスの理論・事例分析と実践的プロセスへの示唆」
日時：2019年7月28日(日) 14:00～17:30
場所：日本大学文理学部 百周年記念館国際会議場
主催：(公社) 日本地下水学会
後援：(公社) 土木学会、(公社) 地盤工学会、(公社) 雨水貯留浸透技術協会、
(一社) 日本応用地質学会、(一社) 全国地質調査業協会連合会、(一社) 水文・
水資源学会、(一社) 土壤環境センター、日本水文科学会
参加者数：51名
- ② セミナー「災害時における水の確保—地下水利用の現状と課題をさぐる—」
日時：2020年1月17日(金) 13:00～17:00
場所：日本大学文理学部 3号館
主催：(公社) 日本地下水学会
後援：(公社) 土木学会、(公社) 地盤工学会、(公社) 雨水貯留浸透技術協会、
(一社) 日本応用地質学会、(一社) 全国地質調査業協会連合会、(一社) 水文・
水資源学会、(一社) 土壤環境センター、日本水文科学会
参加者数：97名

3. 講演会の開催

60周年記念講演会

日時：2019年5月24日(金)
場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター8階大ホール
参加者：130名

4. 見学会の開催

- ① 一般市民向けの湧水見学ツアー60周年記念「湧水めぐり in 秦野」を2019年5月26日(日)に開催した(参加者45名)。
- ② 一般市民向けの湧水見学ツアー「湧水めぐり in 日野市豊田」を2019年10月26日(土)に開催した(参加者42名)。

[公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業

1. 研究グループ活動

- ① 「熊本地震対応調査・研究グループ」では、2019年4月13日に熊本市で公開シンポジウムを開催し、これまでの成果を社会に公開した。
- ② 「地域地下水情報データベース」に文献(地下水学会誌及び水文・水資源学会誌)を追加し、アップデートした。
- ③ 「地下水ガバナンス等に関する調査・研究グループ」では、2019年7月28日に日本大学においてシンポジウムを行った。その内容について、60周年記念特集号(学会誌2020年2号)に掲載するための準備を行った。
- ④ 「水循環における地下水の科学に関する調査・研究グループ」の活動を行い、今後教科書等に取りまとめていく計画を立案した。
- ⑤ 「地下水流動解析コード検証事例作成のための調査・研究グループ」では、これまでの地下水流動解析の信頼性向上に向けた解析コード検証のための事例集の作成を行った。
- ⑥ 「降雨浸透過程モデリングに関する研究グループ」の活動を行い、一部の成果を2020年

3号に特集号として取りまとめるため、寄稿とその編集を開始した。

- ⑦ 今年度で終了する研究グループが複数あることから、新たな研究グループを公募した（学会誌2020年1号掲載）。

2. 優れた若手研究者・技術者、研究グループ等の活動助成

地下水研究に携わる若手研究者・技術者が独創的な着想に基づいて主体的に行う研究を奨励する「2019年度若手地下水研究助成」を公募し、1名の応募者に対して審査を行い助成した。

[公4]: 地下水に関する相談事業

HP「市民コミュニケーション委員会」上にて「地下水ブックガイド」を掲載する等の情報発信、地下水に関する質問の受付と回答を行った（質問件数15件）。

[他1]: 表彰関連

- ① 名誉会員2名、学会賞、地下水学術賞、研究奨励賞、論文賞各1名、功労賞3名を決定し、表彰した。
- ② 春季講演会での若手優秀講演賞4名を決定した。
- ③ 秋季講演会での若手優秀講演賞3名を決定した。
- ④ 若手地下水研究助成奨励賞1名を決定した。

[共通]

1. 会議等

- ① 2019年度定時代議員総会を2019年5月11日に開催した。
- ② 理事会を隔月（4月、6月、8月、10月、12月、2月）および代議員総会開催日（5月11日）に開催した。
- ③ 各常設委員会において会議（メール会議、WEB会議を含む）を開催した。

2. 国内外関連団体交流

- ① 国際水文地質学会日本支部（IAH Japan）の事務局を当学会内におき、その事務業務の一部を行った。
- ② 日本地球惑星科学連合（JpGU）の各種委員会に委員を派遣した。
- ③ 日本地球惑星科学連合（JpGU）大会において、セッション提案を行った。
- ④ 日本地球惑星科学連合（JpGU）の代議員選挙において学会内の事務業務を行った。
- ⑤ 日本地球惑星科学連合（JpGU）の「夢ロードマップ」の作成を継続して行った。
- ⑥ Hydrological Research Letters（HRL）誌運営委員会に委員を派遣した。
- ⑦ Hydrological Research Letters（HRL）誌の編集委員会に編集幹事1名、編集委員2名を派遣した。
- ⑧ 全米地下水協会（NGWA）との協定を継続した。

3. 学会情報普及に関する活動

- ① 学会員を含む広く一般の方々を対象に、ホームページ上に学会及び関連団体等の最新情報を掲示・更新した。
- ② 2019年度（2019/4/1～2020/3/31）のHPアクセス数は175,897件であった。
- ③ メール配信を希望する会員を対象に、メールニュースを発信した。
- ④ インターネットを通じた学会運営の効率化を図った。
- ⑤ 英文ホームページを運用した。
- ⑥ ソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用した学会情報を発信した。
- ⑦ 自治体との意見交換会の一環として、第1回地下水担当職員交流会を開催した。

日時：2019年5月23日(木) 14:00～19:00 (情報交換会を含む)
場所：東京駅日本橋カンファレンスセンター 210
主催：(公社) 日本地下水学会
後援：水資源保全全国自治体連絡会
参加者数：講習会 57名、情報交換会 35名

4. 会計

- ① 公益目的事業毎の会計体系内で、収支相償、公益目的事業比率50%以上の確保、遊休財産額の保有制限等の認定条件を維持するよう運営・管理した。
- ② 未納会費の徴収、経費の節減に取り組んだ。
- ③ 財務基盤強化のための検討を開始した。

5. 若手支援・男女共同参画に関する活動

- ① 若手セミナー「IAH-ECHN (国際水文地質学会 早期キャリア技術者・研究者ネットワーク) 日本支部紹介」を開催した。開催報告を学会誌の「すぶりんぐ」および学会ホームページに掲載した。

日時：2019年5月25日(土) 11:40～12:20

場所：千葉商科大学1号館

参加者数：22名

- ② 「若手交流会」(若手の交流を図る場)を秋季講演会時に開催した。開催報告を学会誌の「すぶりんぐ」および学会ホームページに掲載した。

日時：2019年10月10日(木) 10:00～12:00

場所：松江テルサ

参加者数：22名

- ③ 講演会会期中の保育施設の紹介と託児利用料の補助事業を実施した。なお、本年度の利用者はいなかった。

6. 技術者継続教育に関する活動

- ① ジオ・スクリーニングネット、JABEE等へ参加した。
- ② ジオ・スクリーニングネットのシステムを通じて、会員のCPD登録対応を行った。

以上

貸借対照表 (2019年度)

2020年03月31日 現在

(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
【流動資産の部】		7,923,308	【負債の部】
			3,303,700
現金等	事務局	398	未払金
			0
振替貯金	ゆうちょ銀行(社団法人口座)	5,205,958	預り金
			14,700
普通預金	みずほ銀行(社団法人口座)	1,096,436	前受金
	みずほ銀行(小口座)	438,117	
	みずほ銀行(寄附金口座) (特定寄附金120万円を除く、利息分のみ)	27	
前渡金	各委員会	363,537	
未収金	各委員会	268,835	
前払金	前払家賃	550,000	
【固定資産の部】		1,500,002	【正味財産の部】
			6,119,610
特定資産	特定寄附金A(調査・研究委員会活動費) (みずほ銀行(寄附金口座))	700,000	指定正味財産
	特定寄附金B(地下水学振興基金) (みずほ銀行(寄附金口座))	500,000	
	特定寄附金C(60周年記念事業費) (みずほ銀行(寄附金口座)、ゆうちょ銀行)	0	一般正味財産
			4,919,610
その他の 固定資産	敷金	300,000	
	パソコン, プリンタ	2	
資産合計		9,423,310	負債・正味財産合計
			9,423,310

貸借対照表 内訳表

2020年03月31日 現在

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	4,044,307	0	2,696,629		6,740,936
現金手許有高	0	0	398		398
振替貯金	3,123,575	0	2,082,383		5,205,958
ゆうちょ銀行(社団法人口座)	3,123,575	0	2,082,383		5,205,958
普通預金	920,732	0	613,848		1,534,580
みずほ銀行(社団法人口座)	657,862	0	438,574		1,096,436
みずほ銀行(小口口座)	262,870	0	175,247		438,117
みずほ銀行(寄附金口座)	0	0	27		27
前渡金等	363,537	0	0		363,537
行事委員会	163,537	0	0		163,537
市民コミュニケーション委員会	200,000	0	0		200,000
未収金	268,835	0	0		268,835
行事委員会	268,835	0	0		268,835
前払金	0	0	550,000		550,000
前払家賃	0	0	550,000		550,000
流動資産合計	4,676,679	0	3,246,629		7,923,308
2. 固定資産					
特定資産	1,200,000	0	0		1,200,000
特定寄附金 A (調査・研究委員会活動費)	700,000	0	0		700,000
特定寄附金 B (地下水学振興基金)	500,000	0	0		500,000
特定寄附金 C (60周年記念事業費)	0	0	0		0
その他の固定資産固定資産	180,002	0	120,000		300,002
敷金	180,000	0	120,000		300,000
什器備品	2	0	0		2
固定資産合計	1,380,002	0	120,000		1,500,002
資産合計	6,056,681	0	3,366,629		9,423,310
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	0	0	0		0
預り金	0	0	14,700		14,700
その他	0	0	14,700		14,700
前受金	1,644,500	0	1,644,500		3,289,000
前受会費	1,644,500	0	1,644,500		3,289,000
流動負債合計	1,644,500	0	1,659,200		3,303,700
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0		0
負債合計	1,644,500	0	1,659,200		3,303,700
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	1,200,000	0	0		1,200,000
2. 一般正味財産	3,212,181	0	1,707,429		4,919,610
正味財産合計	4,412,181	0	1,707,429		6,119,610
負債および正味財産合計	6,056,681	0	3,366,629		9,423,310

正味財産増減計算書

2019年04月01日から 2020年03月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	6,119,000	6,087,000	32,000
正会員受取会費	4,487,000	4,536,000	-49,000
準会員受取会費	104,000	100,000	4,000
特別会員受取会費	1,280,000	1,240,000	40,000
過年度分受取会費	248,000	211,000	37,000
事業収益	6,365,730	9,592,800	-3,227,070
公1: 学術結果等を収集, 編集, 公表する事業 収益	3,557,730	4,407,480	-849,750
公2: 講習会, シンポジウム, 見学会開催事業 収益	2,808,000	1,725,000	1,083,000
公3: 特定テーマの技術開発, 研究等事業 収益	0	3,460,320	-3,460,320
公4: 地下水に関する相談事業 収益	0	0	0
その他事業: 表彰事業 収益	0	0	0
受取寄附金	1,883,537	1,060,000	823,537
受取寄附金	1,883,537	1,060,000	823,537
雑収入	151,571	613,855	-462,284
雑収入	151,571	613,855	-462,284
経常収益計	14,519,838	17,353,655	-2,833,817
(2) 経常費用			
公益事業費	13,881,513	14,367,886	-486,373
給料手当	1,899,279	1,923,000	-23,721
臨時雇賃金	206,000	193,000	13,000
会議費	1,799,274	797,906	1,001,368
旅費交通費	2,123,442	2,305,563	-182,122
通信運搬費	485,060	417,533	67,527
消耗什器備品費	0	7,108	-7,108
消耗品費	1,339	58,945	-57,606
印刷製本費	3,735,464	4,646,795	-911,331
光熱水料費	37,898	39,021	-1,123
賃借料	2,748,515	2,149,916	598,600
保険料	5,542	3,510	2,032
諸謝金	375,239	1,028,762	-653,523
支払助成金	150,000	350,000	-200,000
委託費	294,988	431,784	-136,796
支払手数料	11,977	9,843	2,134
雑費	7,496	5,200	2,296
その他事業費	284,160	235,866	48,295
給料手当	80,773	80,250	523
会議費	42,681	0	42,681
旅費交通費	64,415	72,403	-7,988
通信運搬費	907	0	907
消耗品費	6,323	0	6,323
印刷製本費	18,468	0	18,468
光熱水料費	3,158	3,252	-94
賃借料	66,139	75,425	-9,286
支払手数料	324	432	-108
雑費	972	4,104	-3,132
管理費	2,395,168	2,364,817	30,352
給料手当	565,413	561,750	3,663
旅費交通費	450,902	351,838	99,064
通信運搬費	324,614	339,230	-14,616
消耗什器備品費	3,124	0	3,124
消耗品費	173,982	23,328	150,654
光熱水料費	22,107	22,762	-655
賃借料	462,974	527,976	-65,002
保険料	0	13,000	-13,000
支払負担金	310,000	190,000	120,000
委託費	0	314,280	-314,280
支払手数料	23,824	17,302	6,522
雑費	58,228	3,350	54,878
経常費用計	16,560,842	16,968,568	-407,726
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-2,041,004	385,087	-2,426,091

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,041,004	385,087	-2,426,091
一般正味財産期首残高	6,960,614	6,575,527	385,087
一般正味財産期末残高	4,919,610	6,960,614	-2,041,004
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	0	370,000	-370,000
受取寄附金	0	370,000	-370,000
一般正味財産への振替額	520,000	350,000	170,000
一般正味財産への振替額	520,000	350,000	170,000
当期指定正味財産増減額	-520,000	20,000	-540,000
指定正味財産期首残高	1,720,000	1,700,000	20,000
指定正味財産期末残高	1,200,000	1,720,000	-520,000
III 正味財産期末残高	6,119,610	8,680,614	-2,561,004
IV 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
V 正味財産期末残高	6,119,610	8,680,614	-2,561,004

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却は定率法を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

当期末における基本財産及び特定資産の増加額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小計	0	0	0	0
特定資産				
特定寄附金 A	700,000	0	0	700,000
特定寄附金 B	650,000	0	150,000	500,000
特定寄附金 C	370,000	0	370,000	0
小計	1,720,000	0	520,000	1,200,000
合計	1,720,000	0	520,000	1,200,000

注) 特定寄附金 A：調査・研究委員会活動費

特定寄附金 B：地下水学振興基金（若手研究者の研究進化）

特定寄附金 C：60周年記念事業費

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	289,786	289,784	2
合計	289,786	289,784	2

以上

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産および特定資産については財務諸表に対する注記2. に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

当期末において引当金を計上していない。

以上

2019年度 財産目録

2020年03月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
【資産の部】			
I 流動資産			
1 現金預金			6,740,936
1) 現金	手元保管	運転資金として	398
2) 振替貯金	ゆうちょ銀行 (社団法人口座)	運転資金として	5,205,958
3) 普通預金	みずほ銀行 (社団法人口座)	運転資金として	1,096,436
	みずほ銀行 (小口口座)	運転資金として	438,117
	みずほ銀行 (寄附金口座)	寄附金金利分として (特定寄附金 120万円を除く)	27
2 未収金			268,835
	行事委員会会計	2019年度委員会 運営費用未収金	268,835
3 前渡金			363,537
	行事委員会会計	2020年度委員会 運営費用前渡し	163,537
	市民コミュニケーション委員会会計	2020年度委員会 運営費用前渡し	200,000
4 前払金	フクダエステート	事務局家賃(4月～8月分)	550,000
流動資産合計			7,923,308
II 固定資産			
1 特定資産			
1) 特定寄附金A	みずほ銀行 (寄附金口座)	調査・研究委員会活動費	700,000
2) 特定寄附金B	みずほ銀行 (寄附金口座)	地下水学振興基金(若手研究者の研究進化)	500,000
3) 特定寄附金C	みずほ銀行 (寄附金口座)	60周年記念事業費	0
2 その他の固定資産			
1) 敷金	フクダエステート	事務局敷金	300,000
2) 什器備品	パソコン1:学会事務局	公益目的保有財産であり, 公1～公4, その他事業および管理事務に使用している.	1
	パソコン2:学会事務局	公益目的保有財産であり, 公1～公4, その他事業および管理事務に使用している.	1
固定資産合計			1,500,002
資産合計			9,423,310
【負債の部】			
I 流動負債			
1 未払金			0
2 預り金			14,700
	事務局経費	2019年度委員会 預り金	14,700
3 前受金	2020年度分会費	公益目的事業, 法人会計に関わる前受分	3,289,000
流動負債合計			3,303,700
II 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			3,303,700
正味財産			6,119,610

監査報告書

2020年4月14日

公益社団法人 日本地下水学会

代表理事 会長 徳永 朋祥 殿

公益社団法人 日本地下水学会

監事 高坂 信章

監事 深田 園子



私たち監事は、2019年4月1日から2020年3月31日までの公益社団法人 日本地下水学会 第10期事業年度上期の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務局等において業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産諸表に対する注記）及び附属明細書等について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、公益社団法人 日本地下水学会の業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及び附属明細書は、公益社団法人 日本地下水学会の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上